



SCUBAPRO

SCUBAPRO 心拍数ベルト

新しいスキューバプロ心拍数ベルトには、特許取得済の皮膚温度測定および発信機能が搭載されております。

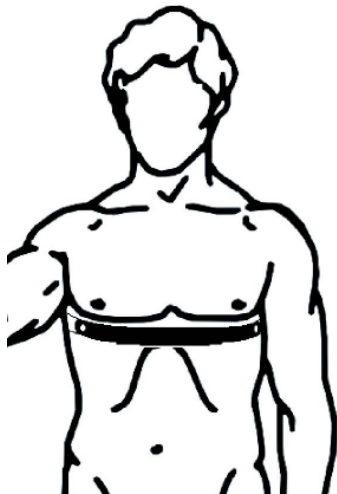
心拍数ベルトを装着する位置は次の図のとおりです。快適かつしっかりと固定できる位置にストラップを調整します。

ダイビングスーツを着用する場合、心拍数ベルトは肌に直接付ける必要があります。肌が乾燥している場合やドライスーツの着用時は、電極部を湿らせてください。



注記：
温度測定機能付きの心拍数ベルトは表裏に注意し体の前胸部に正確に取り付けてください。

ダイビング後は、心拍数ベルトを真水で洗ってから乾燥させ、乾いた場所で保管してください。バッテリーキャップ付きの心拍数ベルトのバッテリー交換は、スキューバプロ正規代理店にご依頼になることをお勧めします。



水は空気より約20%速く熱を伝導します。最大限に断熱を施しても広い皮膚表面から体熱が奪われ、その結果、体幹の温度を維持するために皮膚と末端の血流に影響します。

低温下でのダイブプロファイルをより厳格にするよう求められています。これまでは水温および/またはダイブスーツの断熱性を考慮した推定値に基づいていました。現在スキューバプロは、さらに一歩前進させ、断熱層の下にある皮膚の温度を測定する特許申請済ワイヤレステクノロジーを導入しました。

皮膚温度は、スキューバプロの心拍数ベルトで測定されます。心拍数ベルトは胸部に装着します。この位置は、着用しているダイブスーツの種類に関わらず皮膚温度を推定するのに最適です。ベルトから送信された温度情報をダイブコンピューターは表示し、スキューバプロの適応ダイブアルゴリズムに反映されます

心拍数ベルトで測定される温度は、+18~36 °C (64~97 °F) の範囲内で1 °C 刻みとなります。スキューバプロ心拍数ベルトはウェットスーツでもドライスーツでも使用できます。



注記：
スキューバプロ心拍数ベルトの上に着用する発熱体を備えたヒートベストまたはその他のアクティブなヒーティングスーツを、皮膚温度対応の心拍数ベルトと併用することはできません。

最大行動可能深度は 60m (196フィート) です。



心拍数ベルトダイブ機器は、EU指令2014/30/EUにも準拠しています。



あなたのダイブ器具は、リサイクルおよび再利用が可能な高品質なコンポーネントから製造されています。ただし、これらのコンポーネントは廃棄電子・電気機器の規制に従って正しく管理しなければ、環境および/または人間の健康に悪影響を与える可能性があります。欧州連合加盟国にお住まいのお客様は、EU指令2012/19/UEIに従ってお近くの回収拠点に古い製品を返却することで、環境および健康保護に貢献していただけます。回収拠点とは、具体的には、一部の製品販売店および地方自治体が提供するものです。

左にリサイクルマークの付いた製品は、通常の家庭ごみとして廃棄してはいけません。